

# 経 済 部 経 済 戦 略 課

## 1 流通業務団地関係

事業費内訳

(単位：円)

工事費	用地費及び補償費	そ の 他	財 源 内 訳		
			国庫支出金	そ の 他	一般財源
0	用地費	委託料		土地分譲収入等	
	0	427,900		529,174	
	補償費	事務費等			
	0	101,274			

## 2 崎津がいなタウン用地関係

メガソーラー事業を行う鳥取米子ソーラーパーク株式会社が、平成26年2月から操業、売電を開始している。

令和2年度	発電量	50,329,584 kWh
	借地料収入	27,589,391円

## 3 企業誘致関係

### (1) 米子市企業立地促進補助金交付実績

誘致企業の新規、増設を促進するため、以下のとおり補助金を交付し支援した。

ア	工場立地促進補助金	6件	10,840千円
イ	雇用促進補助金	2件	4,250千円

### (2) 米子市情報通信及び事務管理関連企業立地促進補助金交付実績

誘致企業の新規、増設を促進するため、以下のとおり補助金を交付し支援した。

情報通信及び事務管理関連雇用事業補助金	1件	41,273千円
---------------------	----	----------

## 4 米子インター周辺工業用地関係

米子インター周辺工業用地は、令和2年3月に造成工事が完了。造成工事と並行して、「製造・加工系の工場」を対象に公募し、令和2年4月、1社1区画に分譲した。

その後は、新型コロナウイルス感染症の影響により製造業の投資意欲の回復が見通せない中、令和2年9月に募集対象業種を拡大し、改めて公募を行った。その結果、令和3年1月、残りの4区画すべてを3社に売却した。

## 5 関西事務所関係

所長1名を配置し、本市の企業誘致に必要な情報収集や本市のPRに関する活動を行った。

企業訪問及び企業との協議等	52社
---------------	-----

## 6 産業振興関係

### (1) 地域エネルギー会社「ローカルエナジー株式会社」の電力小売・卸売事業の実施

地元企業5社とともに市も出資した、エネルギー地産地消による地域内資金循環を理念に掲げた地域エネルギー会社「ローカルエナジー株式会社」が、平成28年4月から継続電力の小売・卸売事業を開始している。

### (2) 医療・バイオ分野産業の振興を目的とした医工連携への参画

医療・バイオ分野産業のさらなる発展を目指し、鳥取大学医学部附属病院、鳥取県産業振興機構等が主催する以下の会議への参画等により、医工連携の推進を図った。

#### ア 「医療機器開発人材育成共学講座」

主催：国立大学法人鳥取大学医学部附属病院新規医療研究推進センター

目的：医学部附属病院の医療機器に関するニーズ、試作品等を県内企業の技術シーズで製作、量産化をはかり、その過程で医療機器開発ができる人材を育成する。

#### イ 「とっとりバイオフィロンティア事業運営委員会」

主催：公益財団法人鳥取県産業振興機構とっとりバイオフィロンティア推進室

目的：バイオテクノロジーを用いた再生医療、抗体医薬等向け製品の研究開発を推進

#### ウ 「鳥取大学地域連携関係機関西部連絡会」

主催：鳥取大学産学・地域連携推進機構米子地区地域連携部門

目的：鳥取大学と鳥取県西部地区各団体・企業との連携を深めるため、研究シーズや補助金、イベント等の情報共有を行っている。

### (3) 新たな事業活動を創出するための取組への支援

市内の中小企業者、協同組合等及び生産者団体と県内の学術研究機関とが連携し、新たな事業活動を創出するための研究開発、調査等の取組を行うことを支援する目的で、産学官しごとの種（シーズ）づくり支援事業補助金の交付を行った。

令和2年度実績：1件 170,000円

## 7 雇用対策関係

### (1) 特定新卒者就職支度金

身体障がい者等就職困難者に対し、就職支度金の支給を行った。

令和2年度支給実績 10人 250,000円

### (2) (一財)米子市勤労者福祉サービスセンター

中小企業勤労者に対する福利厚生事業の向上を図るための事業を共同で実施する(一財)米子市勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付し、その運営を支援した。

ア 加入事業所数 284事業所、会員数 2,094人(令和3年3月31日現在)

イ 補助金額 管理運営補助金 7,800,000円

### (3) 勤労者福祉資金

勤労者のための金融機関である中国労働金庫に資金を預託し、勤労者向けの各種融資の充実を図った。

勤労者福祉資金貸付金 100,000千円

### (4) 「S-ct」等就職支援事業

松江市・安来市・境港市と共同し、大学などの新規学卒者や一般求職者の地元での就労を促進するために、企業情報発信を行うサイト「S-ct」の運用やしまね大交流会への協賛を行った。

ア 「S-ct」の実績について

企業登録数 48社

イ 「しまね大交流会」への協賛

しまね産学官人材育成コンソーシアムが主催する「しまね大交流会」へ協賛し、オンラインイベント「大人向けセミナー」を実施し、地方における働き方や人材育成等の情報発信を支援した。

開催日：令和2年11月7、8日

参加企業：69社

参加学生：2,139人

ウ 中海圏域就業支援連携事業推進協議会負担金（米子市分） 1,908,797円

(5) 職業情報発信事業

市外在住の学生や社会人を対象に、LINE及びYouTubeを通して、就職、観光及び地域に関する情報を発信した。

LINE登録者数 269人(令和3年3月31日現在)

YouTube登録者数 34人(令和3年3月31日現在)

(6) 米子市生涯現役促進地域連携事業（厚生労働省委託事業）

高齢者が現役世代の補助的な役割を担い、社会の支え手としてハツラツと活躍できる生涯現役社会の創出を目的とし、高齢者の就業等を促進する事業を実施した。

事業期間：平成28年12月1日～令和3年3月31日（4年4ヶ月間）

事業実施主体：米子市生涯現役促進協議会

（構成員）米子市・米子商工会議所・米子日吉津商工会・（社福）米子市社会福祉協議会  
（一財）米子市勤労者福祉サービスセンター・（公社）米子広域シルバー人材センター

事業内容：生涯現役相談センターの開設（平成29年5月17日）

生涯現役活動セミナーの開催、高齢者ニーズ調査、企業ニーズ調査の実施、  
高齢者向け情報発信サイトの運営

事業費：6,466,487円

相談センターの実績（令和3年3月31日現在）

求人企業登録件数 70件

求職者登録数 251人

就職者数 120人